

# GXP1400 取扱説明書 Ver2.0.0



このたびは GXP1400 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書をお読みになり、お読みになった後はいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

※ 弊社にて各機能を提供しております。お問い合わせは弊社にてお願いいたします

(製造元へのお問い合わせはご遠慮ください)。

最初に付属品 / 添付品が全て揃って入ることを確認して下さい。

- ・GXP1400 本体
- ・受話器
- ・AC アダプタ
- ・カールコード
- ・イーサネットケーブル
- ・スタンド
- ・お使いになる前に
- ・小スタンド×2

## 免責事項

- ・機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・GXP1400は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

## ■ お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

## 接続方法

1. 本体とスタンドを接続する
2. イーサネットケーブルを本体後側の「LAN」とブロードバンドルーターに差し込む
3. AC アダプタに取り付け、コンセントに差し込む
4. カールコードを本体の「HANDSET」に差し込む

※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

※ 必ず GXP1400 本体後側の「LAN」に、ルーターからのイーサネットケーブルを接続します。本体後側の「PC」は、PC 等接続しますと、GXP1400 を通してネットワークに接続する事が可能です。

## ●GXP1400とは

GXP1400 とは、弊社サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。

### LCD ディスプレイ

様々な設定や、相手の電話番号などが確認できます。

### ソフトキー

ソフトキーは、電話の状態に応じて変化します。ソフトボタンに割り当てられている代表的な機能は以下のとおりです。

#### ・次画面

待ち受け画面、天気とIPアドレスが表示されます。切り替えるには、このボタンを押してください。

#### ・全転送

無条件に、別の電話へ電話線を転送します。

#### ・再発信

直前にかけた相手にかけ直す事ができます。相手が話し中や留守の時のかけ直しに便利です。

#### ・不在着

このオプションは、この電話への非応答の通話を示します。表示された番号を選択し、受話器を取らずにリダイヤル/ハンドセットボタンを押すと発信することができます。

#### ・受ける/拒否

着信を受けるか、受けとらないかを選ぶことができます。

#### ・終了

コールを終了します。

### キーパッド・ボタン

#### HOLD:保留

通話中、相手に待ってもらう時に使用します。こちらの声や音は相手に聞こえません。

#### TRANSFER:転送

電話機の機能として、転送をすることができます。

※弊社サービスでの使用は推奨致しておりません。

#### CONF:会議

電話機の機能として、今の通話に第三者を参加させることができます。

※弊社サービスでの使用は推奨致しておりません。

#### LINE1/LINE2

回線の切り替えボタンです。「LINE1」「LINE2」それぞれに回線を設定できます。



#### メニューボタン

電話機にセットされた設定が確認できます。上/下/左/右に移動する4つのナビゲーションキーを押してください。通話中に押していただくと、音量の調節が出来ます。

電話が使用されていない場合に、キーパッド・コンフィギュレーション「MENU」モードを入力するために中心に円形のボタンを押してください。

あるいは、キーパッド・コンフィギュレーション中にある場合 ENTER キーとしてそれを使用してください。



#### ボリュームキー

受話音量を7段階に調節します。



#### ヘッドセット

ヘッドセットを使用する際に利用します。



#### 消音

通話中に自分の音声相手が相手に届かなくなります。また、発信履歴・着信履歴を消去します。



#### スピーカー

ハンズフリー機能です。受話器を置いたままでも通話ができます。



#### 発信ボタン



ハンドセットモードを有効/無効、または再ダイヤル/発信として使用出来ます。

## ●設定方法

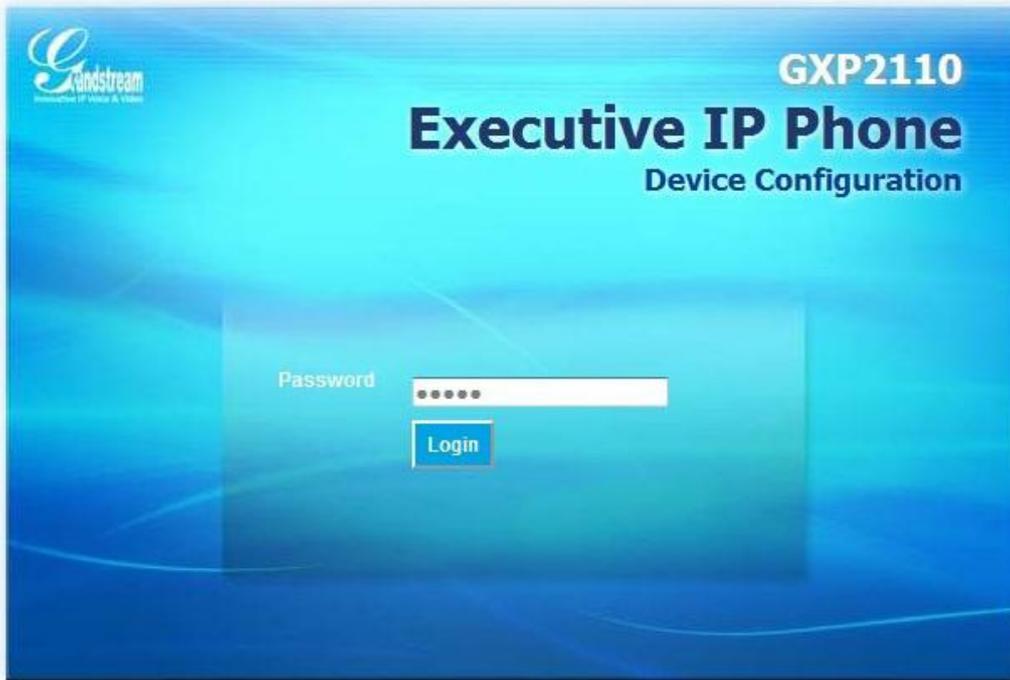
① GXP1400 本体の IP アドレスを確認する。

ディスプレイ表示されている[次画面]の下にある、ソフトボタンを押す。二回ほど押すとIPアドレスが表示されます。

②web ブラウザから、設定ページを開く。

GXP1400 と同じネットワークに接続された PC から、インターネットエクスプローラー等 web ブラウザを起動し、先ほど確認した IP アドレスを、以下のように打ち込みます。

http://(IP アドレス)/ 例: 192.168.001.002 だったら、 <http://192.168.1.2/>



All Rights Reserved 2011 Grandstream Networks, Inc.

③ 上記画面が表示されますので、パスワードを入力し、Login をクリックします。(初期パスワードは「admin」)

※不正ログインを防止するため、ログイン後必ず任意のユーザ名にパスワードに変更して下さい。

変更方法が不明な場合、弊社までお問い合わせください。

④ 画面上部「設定」タブの「基本設定」をクリックします。



DNS サーバ 1: 0 . 0 . 0 . 0  
DNS サーバ 2: 0 . 0 . 0 . 0  
プライマリDNSサーバ: 0 . 0 . 0 . 0  
802.1Xモード: 無効化  
認証ID:   
MD5パスワード:   
(パスワード保護のため表示されません)

#### ライン・キー

ライン・キー: ライン・キー 1  
キーモード: ライン  
アカウント: アカウント 1  
ライン・キー 2  
キーモード: ライン  
アカウント: アカウント 1

タイムゾーン: GMT+09:00 (日本, 韓国, ヤクーツク)

DHCPオプション2によるタイムゾーン設定:

ユーザー定義タイムゾーン: MTZ+6MDT+5,M4.1.0,M1

#### 天気予報:

天気情報更新有効化:  いいえ  はい

都市コード:  自動

ユーザー設定都市コード

更新間隔: 5 (分: 1-3600の間を設定, デフォルト5)

温度の単位:  自動  華氏  摂氏

#### 株式更新:

株式情報更新有効化:  いいえ  はい

株式コード: DJI, IXIC, INX, FTSE, STC

#### 通貨更新:

通貨情報更新有効化:  いいえ  はい

通貨コード: EUR/USD, GBP/USD, CAD

LCD輝度(明るさ)設定: (0-8, 0が最も暗く8が最も明るい)

Active: 6

待機中: 2

LCDコントラスト設定: 10 (0-20)

時間表示フォーマット:  12時間表示  24時間表示

in-call DTMF表示無効化:  いいえ  はい

不在着信バックライト無効化:  いいえ  はい

HEADSET キーモード:  デフォルトモード  イヤホンスピーカー切替

イヤホンTXゲイン (dB): 0 dB

イヤホンRXゲイン (dB): 0 dB

著作権所有 ©2014 Grandstream Networks, Inc.

キーモード:「ライン」を選択します。

アカウント:ライン・キー1には、「アカウント1」を、ライン・キー2には「アカウント2」を選択します。

タイムゾーン:「GMT+9:00(日本,韓国,ヤクーツク)」を選択します。

イヤホンTXゲイン (dB): 送話音量調節

※オプション設定となりますので、設定を行わなくても構いません。

イヤホンRXゲイン (dB): 受話音量調節

※オプション設定となりますので、設定を行わなくても構いません。

設定が終了したら「更新」をクリックします。

⑤ 画面上部「設定」タブの「アドバンス設定」をクリックします。

Grandstream  
Innovative IP Voice & Video

GXP1400 Executive IP Phone  
デバイス設定

状態 設定 アカウント

基本設定 | アドバンス設定 ソフトウェアバージョン 1.0.1.108

### アドバンス設定

管理者パスワード:   
(パスワード保護のため表示されません)

レイヤ 3 QoS:   
(Diff-Serv or Precedence値)

レイヤ 2 QoS: 802.1Q/VLAN タグ   
802.1p プロプライエティ値   
(0-7)

ローカルRTPポート:   
(1024-65400, デフォルト 5004, 必ず偶数を設定してください)

ランダムポート使用:  いいえ  はい

keep-alive 期間:   
(秒, デフォルト 20 秒)

NAT IP使用:   
(設定すると, SIP/SDP メッセージに使用される)

STUN サーバ:   
(URI または IP:ポート)

**フレームウェア更新と  
プロビジョニング:**  新しいフレームウェアを常に確認  
 接頭接尾文字異なる場合のみ新しいフレームウェアを確認  
 常にフレームウェア確認をスキップする

XML設定ファイルパスワード:

HTTP/HTTPSユーザ名:

HTTP/HTTPSパスワード:   
(パスワード保護のため表示されません)

以下を介して更新:  TFTP  HTTP  HTTPS

フレームウェアサーバIP:

設定サーバIP:

フレームウェアファイル接頭文字:

フレームウェアファイル接尾文字:

設定ファイル接頭文字:

設定ファイル接尾文字:

DHCP オプション43とオプション  
66によるサーバ設定を許可:  いいえ  はい

自動アップグレード:  いいえ  はい 毎  分

認証設定ファイル:  いいえ  はい  
(はいを設定すると設定ファイルが処理される前に認証が行われる)

TR-069有効化:  いいえ  はい

ACS URL:

TR-069ユーザ名:

TR-069パスワード:

証明書保存:  いいえ  はい

自動ログイン:  いいえ  はい

周期的な情報送送有効化:  いいえ  はい

周期的な情報送送期間:

接続要求名:

接続要求パスワード:

**認証メソッド:**  No Authentication  Basic  Digest

接続要求ポート:

フレームウェア更新とプロビジョニング:「常にフレームウェア確認をスキップする」を選択します。

認証メソッド:「Digest」を選択します。

(中略)

**NTP サーバ:**  (URIまたはIPアドレス)

Allow DHCP Option 42 to override NTP server:  いいえ  はい

**SSL証明書:**

**SSL秘密鍵:**

**SSL秘密鍵パスワード:**

**Distinctive Ring Tone:**

カスタム着信音1, 発信者IDが以下となる場合のみ使用:  
 カスタム着信音2, 発信者IDが以下となる場合のみ使用:  
 カスタム着信音3, 発信者IDが以下となる場合のみ使用:

**システム呼び出し音:**

**コールプログレス音:** シンタックス: f1=val, f2=val[, c=on1/ off1[- on2/ off2[- on3/ off3]]];  
 (周波数はHzを単位とし、カデンツのオンとオフは10msを単位とする)

**ダイヤル音:**

**通話待ち音:**

**呼び出し音:**

**通話中着信音:**

**通話中トーン:**

**再送信音:**

**インターコムユーザID:**  (アカウント 1)

**通話中着信無効化:**  いいえ  はい

**通話中着信音無効化:**  いいえ  はい

**IPアドレスダイヤル無効化:**  いいえ  はい

**クイック IP-call モードを使用:**  いいえ  はい

**電話会議無効化:**  いいえ  はい

**MPKによるDTMF送信有効化:**  いいえ  はい

**enable FLASH key as CONF:**  いいえ  はい

**着信拒否解除キー:**  いいえ  はい (着信拒否はいを設定するとキーを押しても無効化さ

**転送無効化:**  いいえ  はい

**自動保留転送:**  いいえ  はい

**キーボードメニューより設定:**  無制限  基本設定のみ  制限モード

**キーボードロック(STARキー):**  いいえ  はい

**ロックパスワード:**

**SIP URIの中の#を%23に置き換え:**  いいえ  はい

**表示言語:**

العربية  Ěesky  Deutsch  
 English  Espařol  Franęais  
 עברית  Hrvatski  Magyar  
 Italiano  日本語  한국어  
 Nederlands  Polski  Portuguęs  
 Русский  Slovenřina  正體中文  
 简体中文  自動  
 第二言語  (言語ファイル接尾文字)

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2011. 著作権所有.

**NTP サーバ:**「ntp.jst.mfeed.ad.jp」を入力します。

**通話中着信無効化:**「はい」を選択いただくと、通話中に着信があった場合、新たに掛けてきた相手に話中を通知します。

「いいえ」を選択いただくと、通話中に着信があった場合、新たに掛けてきた相手に呼び出しを通知します。

※オプション設定となりますので、設定を行わなくても構いません。

表示言語:「日本語」を選択します。

設定が終了したら「更新」をクリックします。

⑥ 画面上部「アカウント」タブの「アカウント1」をクリックします。

**Grandstream**  
Innovative IP Voice & Video

**GXP1400 Executive IP Phone**  
デバイス設定

状態 設定 **アカウント**

アカウント 1 | アカウント 2 ソフトウェアバージョン 1.0.1.108

### アカウント 1

アカウント有効:  いいえ  はい

アカウント名:   
(e.g., MyCompany)

SIP サーバ:   
(e.g., sip.mycompany.com, or IPアドレス)

第二 SIPサーバ:   
(e.g., sip.mycompany.com, or IPアドレス)

アウトバウンドプロキシ:   
(e.g., proxy.myprovider.com, or IPアドレス)

SIP ユーザID:   
(SIPアドレスのユーザ部分)

認証ID:   
(SIP ユーザIDと一致または異なることができます)

認証パスワード:   
(パスワード保護のため表示されません)

名前:   
(任意に設定, e.g., John Doe)

DNSモード:  A Record  SRV  NAPTR/SRV  設定されたIPを使用

フワリ マルIP:

バックアップIP 1:

バックアップIP 2:

TEL URI:  無効化  User=Phone  有効化

SIP登録:  いいえ  はい

再起動時に登録を取り消す:  いいえ  はい

登録期限:  (分, デフォルト 1時間, 最大45日)

ローカルSIPポート:  (デフォルト 5060)

SIP登録失敗再試行待ち時間:  (秒, 1から3600の間を設定, デフォルト20)

SIP T1 タイムアウト:  秒

SIP T2 間隔:  秒

SIP転送:  UDP  TCP  TLS/TCP

ドメイン証明書確認:  いいえ  はい

ルートからOBPを削除:  いいえ  はい

受信メッセージ有効化:  いいえ  はい

SIPインスタンスIDサポート:  いいえ  はい

NATトラバース:

SUBSCRIBE for MWI:  いいえ  はい

登録へのSUBSCRIBE:  いいえ  はい

PUBLISH for Presence:  いいえ  はい

Proxy-Require:

登録へのSUBSCRIBE:  いいえ  はい

Feature Key Synchronization:  無効化  有効化

PUBLISH for Presence:  いいえ  はい

Proxy-Require:

ボイスメールユーザID:  (ボイスメールシステム用ユーザID)

DTMF発信:  in-audio  RTP (RFC2833)を介する  SIP INFOを介する

認証ID  
(SIP ユーザIDと一致または異なることができます)

ドメイン証明書確認:  
はい/有効と設定された場合、RFC5922に準拠したドメイン証明書の確認が行われる

SIP サーバー: & アウトバウンドプロキシ: **ログインサーバー**を入力します。

アカウント名:& SIP ユーザ ID: & 認証 ID: & 名前: **ユニーク(10桁の数字)**を入力します。

認証パスワード: 登録時にメールでお伝えしたパスワードを入力します。

もし、管理ページにてユニークのパスワードの変更を行った場合は、その変更したパスワードを入力します。

NATトラバース: 「Keep-Alive」を選択します。

ホストメールユーザ ID: 「999」を入力します。

DTMF 発信: 「in-audio」「RTP(RFC2833)を介する」を選択します。

(中略)

プライマリ音声方式:  
(リストされた順に)

選択項 1:	PCMU
選択項 2:	PCMA
選択項 3:	PCMU
選択項 4:	PCMU
選択項 5:	PCMU
選択項 6:	PCMU
選択項 7:	PCMU

SRTP モード:  無効化  有効化でも強制ではない  
 強制的に有効化  任意

対称的RTP:  はい  いいえ

無音抑制:  はい  いいえ

TXごとの音声フレーム:   
(G711/G726/G723/その他のコーデックに対しそれぞれ最大値10/20/32/64を設定可能)

キー未入力タイムアウト:   
(秒, デフォルト4秒)

#を発信キーとして使用:  はい  いいえ

G723レート:  6.3kbpsエンコードレート  5.3kbpsエンコードレート

G.726-32 Packingモード:  ITU  IETF

iLBCフレームサイズ:  20ms  30ms

iLBCペイロードタイプ:   
(96と127の間を設定, デフォルト97)

eventlist BLF URI:

特別機能:

著作権所有 2011 Grandstream Networks, Inc.

#### プライマリ音声方式:

「選択項 1～選択項 8」を画面と同一に設定して下さい。(選択項目 2 のみ PCMA。他 PCMU)

入力が完了しましたら、「更新」をクリックします。

「アカウント 2」も「アカウント1」と同様に設定して下さい。

※「アカウント 2」に別のユニークを登録できます。

※省略されている部分はデフォルト設定のままです。

全ての設定を行った後「再起動」をクリックします。本体が再起動し、設定が有効になります。

## ○ ファームウェアのバージョンアップ方法

設定タブからアドバンス設定をクリックします。

Grandstream  
Innovative IP Voice & Video

GXP1400 Executive IP Phone  
デバイス設定

状態 **設定** アカウント

基本設定 **アドバンス設定** ソフトウェアバージョン 1.0.1.110

### アドバンス設定

管理者パスワード:   
(パスワード保護のため表示されません)

Confirm Password:

レイヤ 3 QoS:   
(Diff-Serv or Precedence値)

レイヤ 2 QoS: 802.1Q/VLAN タグ   
802.1p プリオリティ値   
(0-7)

ローカル RTP ポート:   
(1024-65400, デフォルト 5004, 必ず偶数を設定してください)

ランダムポート使用:  無 /  有

keep-alive 期間:   
(秒, デフォルト 20 秒)

NAT IP 使用:   
(設定すると, SIP/SDP メッセージに使用される)

レイヤ 3 QoS  
(Diff-Serv or Precedence値)

ローカル RTP ポート  
(1024-65400, デフォルト 5004, 必ず偶数を設定してください)

NAT IP 使用  
(設定すると, SIP/SDP メッセージに使用される)

STUN サーバ:   
(URI または IP ポート)

フレームウェア更新と  
プロビジョニング:  
 新しいフレームウェアを常に確認  
 接続相尾文字異なる場合のみ新しいフレームウェアを確認  
 常にフレームウェア確認をスキップする

XML 設定ファイルパスワード:

HTTP/HTTPS ユーザ名:

HTTP/HTTPS パスワード:   
(パスワード保護のため表示されません)

以下を介して更新:  TFTP  HTTP  HTTPS

フレームウェアサーバパス:

設定サーバパス:

フレームウェアファイル接頭文字:

フレームウェアファイル接尾文字:

設定ファイル接頭文字:

設定ファイル接尾文字:

上図の赤枠に下記 URL を入力して下さい。

「 **firmware.grandstream.com** 」

入力が終わりましたら最下部の「更新」をクリックして再起動して下さい。

※ファームウェアのアップデートには数分かかりますので、電源の抜き差しや端末の操作等はお控え下さい。

アップデートがうまくいかない場合は、一度初期化してから再度アップデートをかけて下さい。

初期化方法は当マニュアルに記載されてますのでそちらをご確認下さい。

## 安全にお使いいただくために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。



警告

この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。



警告

-  煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く  
そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
-  分解・改造しない  
火災・感電・故障の原因となります。
-  開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない  
万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
-  内部に水や異物を入れない  
水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
-  故障や異常状態のまま使用しない  
火災・感電の原因となります。
-  雷が発生したときは、本機に触れない  
感電の原因となります。
-  風呂やシャワー室では使用しない  
火災・感電・故障の原因となります。
-  本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない  
こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
-  水などで濡らさない  
本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



注意

-  調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない  
火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  直射日光の当たるところに置かない  
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多いところに置かない  
火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない  
故障の原因となることがあります。
-  不安定な場所や振動の多いところに置かない  
落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
-  受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う  
受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

## 故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは弊社へお問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。(数回行ってください) 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

## ●初期化方法

ファームウェアが初期化されます。アップデート方法は必ず、サポートまでお問い合わせください。

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。

初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

1. 本体で[●]ボタンを押して、青色のボタン[▲][▼]を使い↑↓を数回押し「状態」内にある「MAC:」をメモします。(例:00:0B:82:33:××:××)
2. 次に、先ほどと同じく本体で[●]ボタンを押して、青色のボタン[▲][▼]を使い↑↓を数回押し、「設定」内にある「工場出荷設定に戻す」で決定します。
3. メモした MAC アドレスを本体で入力します。
4. 入力後、「保存」を選択すると電話機が自動的に再起動され、設定が初期化されます。